



南日本ハウスの
大規模木造建築

お役立ちレポート

大規模木造施設建築
～介護・福祉・医療～

3階建て以下の建築物における木造化率の推移

低層(3階建て以下)		令和元年度		令和2年度	
【延べ床面積ベース】		合計(m ²)	木造率(%)	合計(m ²)	木造率(%)
建築物全体		79,532,690	65.1%	71,745,432	65.8%
		51,806,426		47,188,870	
公共建築物		5,119,591	28.5%	4,572,032	29.7%
		1,456,839		1,359,417	
国		133,070	4.2%	97,891	7.1%
		5,593		6,934	
都道府県		261,195	10.0%	268,493	10.2%
		26,184		27,319	
市町村		1,538,567	16.1%	1,368,306	17.2%
		248,329		235,515	
民間と個人		3,186,759	36.9%	2,837,342	38.4%
		1,176,733		1,089,649	

上段:新築に係る床面積の合計

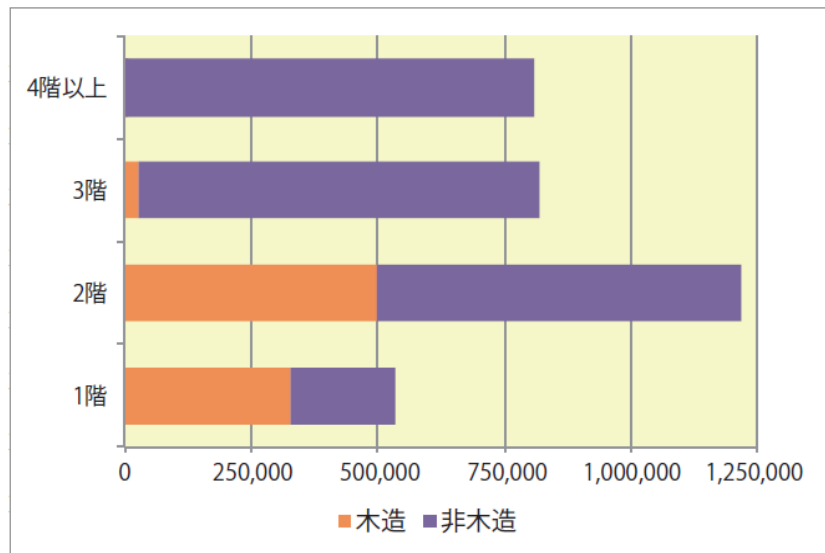
下段:うち、木造の床面積の合計

① **低層階(3階建て以下)**の建築物における木造化率は上昇傾向

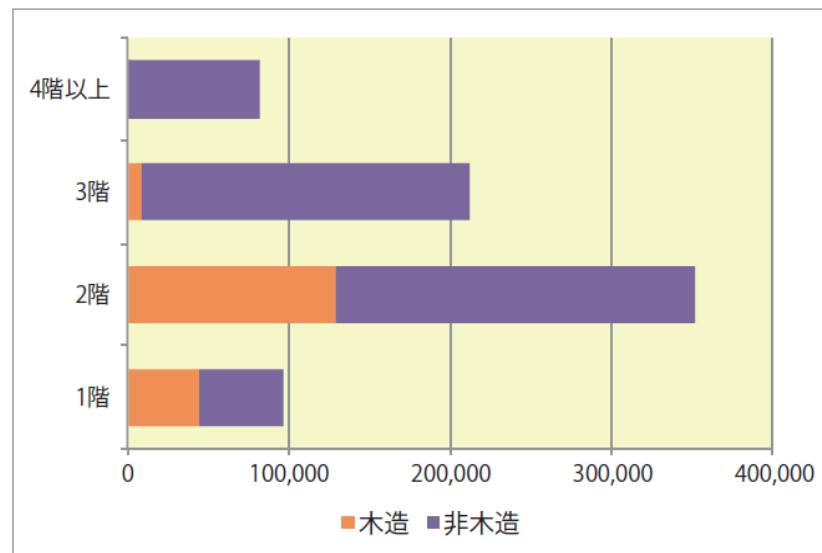
② 建築主別では、「民間と個人」で特に上昇しており、公共建築物のみではなく **民間建築物にも拡大している状況**

新築の介護・福祉施設の木造化の状況

◆介護・福祉施設の着工床面積における木造/非木造の割合



全体



1,000～2,000㎡未満の施設

- ① 総着工面積の25%が木造、1階建て・2階建てはそれぞれ62%・41%
- ② 福祉施設は木造建築の需要が高い建物種別
- ③ 1,000㎡～2,000㎡未満でも準耐火建築物に該当するか、防火区画分けの処置によって木造で建築することが法令上可能に